

済生会小樽病院 公開・オプトアウト書式

①	申請番号	R3-18
②	研究課題名	胸腰椎圧迫骨折後の入院期間・移動能力に関する調査
③	情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	高齢者の胸腰椎に発生した骨粗鬆症性圧迫骨折(osteoporotic vertebral fracture: OVF)に対し入院保存加療を施行した症例の入院期間、再獲得できた移動能力、移動能力再獲得までにかかった期間を調査し、保存治療における成績不良因子を明らかにし、OVFに対する早期手術を考慮すべき症例の特徴を調査することを目的とする。本研究の成果を学会や学術雑誌等において発表することにより公表する。
④	利用または提供する情報の項目	①患者背景:年齢、性別、受傷(発症)日、骨粗鬆症治療既往、合併受傷、認知機能(HDS-R)、受傷前移動能力、受傷前生活状況、入院期間 ②画像所見:骨折部位、椎体楔状率、骨折部局所後弯角、腰椎前弯角、CT・MRIでの骨折部所見 ③入院後経過:投薬状況(定期内服・頓用を含む)、平行棒歩行開始日、歩行器歩行自立日、杖歩行自立日、独歩自立日、退院時移動能力、退院先、装具治療状況、転帰(手術を要したか)、入院中合併症、入院加療に伴う医療費
⑤	対象者及び対象期間	2013年8月から2021年3月までに北海道済生会小樽病院において、胸腰椎圧迫骨折の保存治療目的に入院加療を要した患者
⑥	利用の範囲	研究者および研究代表者
⑦	資料・情報の管理について責任を有する者	済生会小樽病院 【整形外科 医長 藤本秀太郎】
⑧	問い合わせ先	済生会小樽病院 総務課 0134-25-4321

もし、研究や情報の提供に同意いただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。
なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。